

平成30年度 学校自己評価(保護者・教職員)アンケートのまとめ

平成31年1月23日

須坂市立須坂支援学校

保護者アンケートは11月30日に配布し、12月14日までに回収しました。教職員アンケートも同時期に実施、回収しました。

2月21日、22日の参観日に保護者説明、3月1日に信州型コミュニティースクール運営委員会説明を行います。

評価：A「そう思う」 B「おおむねそう思う」 C「そうは思えない」 D「そうは思わない」

	評価の観点	評価	保護者		コメント	教職員		コメント	アンケート評価の結果		課題及び改善策・向上策
			人数	割合		人数	割合		外円:保護者 内円:教職員		
1	子どもたちが主体となる楽しい学校づくりと教育内容づくりができていますでしょうか。	A	23	82%	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は楽しくて明るく思う。・よくできていると思う。 ・子どもが毎日楽しく通っている。・子どもが毎日の学校を楽しみにしています。 ・行事の多さが気になります。須坂小学校の行事に負担を感じることもあり、参加することで何かしらの達成感が得られるとよいと思います。 ・お出かけしたり、アスレチックのような遊具を作っていたり楽しみながら体を動かす授業になっていると思います。ただ、須坂小側のカリキュラムのくぬぎ祭などは本人たちもよく分からずやらされています。 ・子どもが、「先生好き、学校楽しい」と言っているのが有り難く思っています。 	2	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・須坂小との交流や常盤中との交流、子どもの願いを入れた教育内容が作られている。 ・子どもたちが自分から動き出せるようなワークシステムが必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	学校が楽しい、毎日楽しみに学校に通学しているという子どもの姿から保護者及び教職員の評価は概ね良好である。特色ある教育内容を評価していただいている。須坂小学校の行事への参加の仕方については、保護者と相談しながら、本人が主体的に活動し何らかの達成感が得られるように状況を整え支援していく。今後も、本人の願いや思いを大切に、子どもたちが学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見直しをもって粘り強く取り組めるように支援し、楽しい学校づくりや教育内容づくりを図っていききたい。
		B	4	14%		14	88%				
		C	1	4%			0%				
		D		0%			0%				
		合計	28			16					
2	授業実践やかかわり方は、児童生徒一人一人の人権を大切にしたいものになっているでしょうか。	A	22	79%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一人の人権を守っていると思う。 ・言葉がたくさん出てきている。 ・よくやっていると思う。 ・先生方とお話する中で大切にされているのがよく伝わってきます。 ・個々に合わせた学習、活動、支援がなされていると思います。 ・個々の特性理解をしているのか疑問に思うときがある。 ・なっていると思います。授業参観でそう思いました。 	1	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・二期に、「子どもを大切にしたい支援」について職員みんなで改めて確認したことで、意識した支援ができるようになってきていると思う。 ・児童・生徒との距離感は大切に考えていきたい(物理的、心理的)。研修を通してだいたい意識している。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	保護者、教職員ともに、「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせて90%以上と、概ね良好な評価をいただいている。人権にかかわる研修の積み重ねや日頃からの子どもとのかかわりについて、職員会、研修会等で話題としていることが評価されたものと思われる。実態把握を通じた個に応じた支援を評価する意見の一方で、障がいの特性への理解不足を指摘する意見もいただいた。来年度当初に子どもたちへのかかわり方や支援の仕方について職員研修を現在計画している。今後も人権を尊重する支援について職員間で研修を積み重ねたり、相互に指摘し合える関係を大切にしたい。
		B	4	14%		14	88%				
		C	2	7%		1	6%				
		D		0%			0%				
		合計	28			16					
3	児童生徒の実態(日々の生活・授業支援)に添った「個別の指導計画」が作成され、「個別の指導計画」が有効に活用された支援・指導がなされているでしょうか。	A	22	79%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画に添って支援・指導されてよい。・出来るが増えている。・よくできていると思う。・子どもの精神不安定など、無理をさせない指導は有り難かったです。・細かく子どもの様子を見てご指導してくださり感謝しています。・日々の生活の様子や理解の程度などよく記録していただき、相応の指導計画が立てられ保護者のニーズともマッチングしていると思います。 ・課題を克服するために細かく項目が示されており、計画に添った授業・指導がされていると思います。・内容に関しては本人のレベルに合ったものでよいと思います。活用されているかは、見えにくい部分があるので、説明する機会がもっとあるとよいと思います。 	1	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の反省として活動すること自体に追われてしまっている。その子の願う姿や育ちについて日々感じているものをそれを指導計画に途中で位置づけ有効に活用することを大切にしたい。 ・個別の指導計画作成の仕方(複数で作成したり、修正したりそのプロセス)の研究が必要かと思いました。・自分自身の反省として、C票検討(評価)の時期に、「これやっていかなかった」というようなことがある。ときどき、見返して見るような機会が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	個別の指導計画について、保護者からは高い評価をいただいている。保護者と共に検討・作成し、丁寧に振り返りを行っていること、授業改善を行っていること、それが児童生徒の育ちにつながっていることが評価されたものと思われる。教職員の評価からは、個別の指導計画の作成と活用に関して研修が必要であること、また、常に意識しながら支援・指導していくことの必要性が指摘された。
		B	5	18%		13	81%				
		C	1	4%		2	13%				
		D		0%			0%				
		合計	28			16					
4	連絡ノート、家庭訪問、懇談会などを通して児童生徒の様子を把握し、保護者と連携した教育活動を実施することができているでしょうか。	A	23	82%	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問等で学校の生活を聞いてよいと思う。・忘れがちなどを連絡帳を通して知らせてもらっている。・子どもの細かい所まで相談にのっていただいたり、アドバイスしていただいたりして有り難かったです。・連絡ノートや送迎時、頑張っていたことや気づいた点をすぐに知らせていただけるので有り難いです。相談にものっていただけるので心強いです。 ・よくできていると思う。・連絡ノートや朝の申し送り、懇談などで学校での様子や取り組みを詳しく聞くことができている。家庭での困り感や課題も共有していただいています。 ・連絡手段が統一されていないことやたびたび知らされたことが間違っていたということがあります。・保護者の話に耳を傾けてくださり相談させていただいたことで子どもの気持ちを理解できました。 	5	31%	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね出来ているとは思いますが、保護者の気持ちに寄り添い、端的に伝えられる連絡ノートの書き方について研修してみたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	保護者から高い評価をいただいている。毎日の送迎時や連絡ノート等で児童・生徒の様子について伝えてきていること、児童・生徒のよさを伝えたり、保護者の話を傾聴し相談にのったりしていること等に満足いただき良好な関係を構築できていると思われる。一方で、連絡手段の不統一や知らされたことが間違っていて、保護者にご心配、ご迷惑をお掛けしたことに対してのご指摘もいただいた。今後もより丁寧に保護者の願いを汲み、連絡の手段や方法を工夫するなどして、これまで以上に気持ちに寄り添う姿勢を大切にしたい。
		B	4	14%		11	69%				
		C	1	4%			0%				
		D		0%			0%				
		合計	28			16					
5	児童生徒一人一人の特性に応じた教材教具の工夫、分かる状況やできる状況づくり、視覚的な援助など適切な支援ができていますでしょうか。	A	21	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性等をよく分かっていると思う。・いつもいろいろな工夫をしてくださっていますが穴あきシートを作成してくださり、自分の名前を書いた子どもの誇らしげな顔がうれしく思います。・よくできていると思う。・はさみの使い方が上手になっているなどの成果が見られる。・子どもが興味をひく課題をこなすことで楽しみながら身に付き日々の成長を感じています。日々多忙な業務の中こまごましていただき感謝の気持ちでいっぱいです。・視覚支援を常に取り入れていただき、本人が分かりやすい方法を考えて教材が工夫されていると思います。・好きなことは継続してもよいのですが、あまりにも同じ課題が続いているときは逆にストレスにならないかと思うこともあります。子どもの様子を見ながらどの位の負担が掛かっているのか見極めることができるとよいです。・工夫してくださったことでいろいろな困りに出来ることが増えて助かりました。 	3	19%	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の反省として、「もっとこうすれば」ということがあるが、なかなか実行にうつせない行動力のなさ、また、ほかの仕事に追われて先送りしてしまうことがある。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	保護者、教職員ともに高い評価である。一人ひとりに応じた教材教具の工夫や視覚的な援助が個別の指導計画に基づき、個に応じた支援になっているとの評価である。教職員側からは、時間に追われて不十分のまま、授業に臨んでしまうという課題が挙げられている。また、同じ課題が出されるという意見も見られた。今後も、児童・生徒の実態を把握し、より一層一人ひとりが力を発揮できる支援をしていけるようにしたい。
		B	5	18%		12	75%				
		C	1	4%		1	6%				
		D	1	4%			0%				
		合計	28			16					
6	複数担任や学校職員がそれぞれの個性や力を発揮して、一人一人の児童生徒について共通理解をして、指導・支援にあたることができているでしょうか。	A	19	68%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのことをよく理解していると思う。・よくできていると思う。・子どもの出来ること、先生の手伝いなどでできている。・調査表等に記入したことが理解していただけていないのでは?と思うことがあります(全児童のことを全職員が把握するのは難しいとは思いますが・・・)。 ・よく話が伝わっていてすばらしいチームワークだと思います。 ・クラスの担任の先生方は連携できていて児童の個性をじっくりと理解して指導できていると感じます。ほかのクラスの先生方と連携できているかは分かりません。 ・障がい・特性の理解に関してレベルの差が大き間違った支援だと感じることも多いです。先生同士で成功事例の共有などはされているのでしょうか? ・先生方には本当にお世話になり有り難かったです。 	3	19%	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対して情報交換、対応等それぞれの個性を活かしてできている。 ・小・小中の連携ができるとよいと思います。 ・担任間での情報交換、共通理解が必要。改めて時間をとらなくてもいつも話題にしていくことが必要と思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	保護者の評価は概ね良好であるが、Cの回答が見られた。教師によって障がいに対する理解や対応が違うというご意見については、チームで支援にあたっていることを踏まえ、個別の指導計画の作成・検討を経て、児童・生徒の情報共有をし、意識統一をしていくことで解決していきたい。また、職員間の支援情報の共有や小学部・中学部の部間の連携も今以上にできるようにしていきたい。
		B	7	25%		11	69%				
		C	2	7%		2	13%				
		D		0%			0%				
		合計	28			16					
7	「働き方改革」の業務見直しで、日常の負担感は減少したでしょうか。	A			<ul style="list-style-type: none"> ・普通教育に準ずる教育と思いきや、たまに不信の念を抱くこともある。いろいろな指導方法を探索してほしい。 ・親が気づかないことも先生は子どもをよく見ていただき、伝えていただけるのが助かります。今後のことについても視野に入れてアドバイスしていただけるので勉強(参考)になります。 ・いつもお世話になっております。子どもに寄り添って毎日の学校生活をご指導いただき、大変有り難く感じています。 ・子どもが毎日楽しかったと帰ってきます。長期休みは学校へ行けずさみしいようです。子どもが楽しいと思える学校生活を作ってください、先生方に感謝します。 ・男子生徒が多いので男性職員を増やしてほしい。 ・今までに一度も支援会議をしていないので一度やってほしい。 ・熱心にご指導いただき感謝しています。 ・子どもの長所を伸ばしてくださってありがとうございました。「学校、楽しい」とよく子どもが言っていました。 ・学校、先生方を信頼しております。これからどうぞよろしくお願いいたします。 ・先生によって支援の仕方が詳しい、民間のリハビリなどよく勉強されている先生もいれば、そうでない先生もいて差があるのかな・・・と感じます。担任が代わったときもずっと取り組んできた課題や継続してほしい教材などしっかり引き継がれるのか不安に思うときがあります。 ・年度が変わるときにやっていた課題のやり方等の細かい部分は引き継がれているのでしょうか?持ち帰ってくる課題が何ヶ月も同じ様子ですが、上達させるような指導はされ 	1	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しさが軽減した様子が見られない。 ・前・後期になり、特に学期末の業務負担が改善されたように思います。 ・休日に出る必要のある催しが多い。行事の見直しをやっていく必要がある。 ・時間外の会議がなくなります。 ・ほとんど負担が軽減された感はない。 		<ul style="list-style-type: none"> ■ A ■ B ■ C ■ D 	成果として、二期制になり学期末の業務負担が改善されたと感じる教職員がいる一方で、教職員の半数が日常の業務の負担感の減少を実感できていない状況がある。前任校との比較において回答している教職員もいると思われる。校内的には会議の削減などこれ以上難しい面もあるが、行事の精選や校務分掌の見直し・統合など業務の改善を図るなど働き方を見直し、教職員が十分な力を発揮できる職場にしたい。
		B				7	44%				
		C				8	50%				
		D					0%				
		合計				16					
意見・要望等	保護者				<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換、共有の場が少ないように思います。さまざまなご意見があるのは当然ですが、せめて共通の目標を達成するために、同じ方向をみて進めることができたらよいと思います。 	教職員		評価を踏まえた今後の学校運営の方向		保護者アンケートの回収率は、93%であった(家庭数30)。回収率が高く、調査結果は信憑性の高いデータであるといえる。児童生徒理解やその指導・支援のあり方、学校運営上の校務分掌の業務分担等については、職員会議において毎回確認をしたり、学期ごとに反省をし改善策を検討したりしてきている。また、「性教育」「新学習指導要領」「応用行動分析」等の研修を計画・実施し、専門性を高めるよう努めている。	
	保護者アンケートの回収率は、93%であった(家庭数30)。回収率が高く、調査結果は信憑性の高いデータであるといえる。児童生徒理解やその指導・支援のあり方、学校運営上の校務分掌の業務分担等については、職員会議において毎回確認をしたり、学期ごとに反省をし改善策を検討したりしてきている。また、「性教育」「新学習指導要領」「応用行動分析」等の研修を計画・実施し、専門性を高めるよう努めている。					今後も、小学部・中学部の独自性を保ちつつ、部を超えた連携をして一体感のある学校づくりに取り組んでいく。保護者の皆さまや児童・生徒の教育的ニーズをこれまで以上に教育活動に反映できるように、複数の教職員が相談窓口となったり、担任以外の職員とも懇談できる機会を設定したりしていく。また、本校の教育課程が合わせた指導を取り入れていることを丁寧に説明していく。		働き方について二期制にする、研修日を設けるなどして業務負担を減らしてきている。対外的なものについて勤務時間を意識して関わり方を模索していく。			

